

畜産

農林水産部 畜産課



野口 航平

Noguchi Kohei

平成29年度
採用

異動経歴

H29年採用 海匠農業事務所

R4年 農林水産部 畜産課



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

全国有数の畜産県の畜産振興・研究に携わることができることや、培ってきた動物や畜産、食に関わる知識を活かすことができることが魅力です。また、業務の中で動物と触れる機会があったり、畜産物についてより知ることができるため、興味や知識をより深めることができる職種でもあります。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

現在は、養豚振興と共進会（牛や畜産物の品評会）を担当しています。豚舎の新規整備などを支援する事業の事務や、千葉県で作出した「ポウソウL4」という系統豚の推進、共進会の開催団体との連絡調整を行っています。以前の所属では、畜産農家に対して直接、技術や経営についての普及・指導を行っていました。どの業務においても、畜産農家の役に立った、支えになった時が一番やりがいを感じます。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

全国有数の畜産県であり、生産地でもありながら大消費地に近いという千葉県の畜産振興に携わりたいと思ったためです。また、日頃食べている豚肉や卵が千葉県産の事も多く、千葉県での畜産業の今後の発展や持続性を感じていました。

他の自治体では募集人数が少なかったり、そもそも募集が無いことも多い職種ですが、採用募集が毎年ある県のため、受験しやすいというのも理由の一つでした。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

周りにいる職員も畜産職や獣医師職、農業職のような専門・資格職が多く、それぞれの職員が専門的な知識・経験を持ち合わせているので、相談しながら業務を進められる環境です。飼料の高騰や鳥インフルエンザの発生など難しい課題に直面することもあります。一丸となってフォローし合いながら業務を行っています。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

畜産振興を行うにあたって、公共性や法律等に沿った正確性を確保しながら、いかに畜産農家の役に立つ仕事ができるかを心がけています。そのためにも、畜産の生産現場での課題やニーズに対しては情報収集を丁寧に行い、現場の声を業務や施策に反映できるように努力しています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

生産振興を図るうえで、多彩な千葉の畜産の魅力をいかに伸ばしていくか、それをどう消費者にアピールしていくか、生産技術だけでなく、畜産物の販売まで見据えて考えていくのはとても難しいと日々感じています。

入庁当初は生産現場の実情や畜産に関わる用語でわからないことが多く、苦勞しましたが、先輩や畜産農家の方々がたくさん教えてくださったので、徐々に慣れることができました。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

畜・農・水産物全てが揃っている「食の宝庫」であることと、都市部や都心にも近く生活にも便利なところです。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

退庁後は、近所で買い物をしてから帰って、晩御飯を作っています。

農業職の同期から旬の野菜や果物を教えてもらう機会も多いので、メニューに取り入れるようにしています。

休日は、家族や友人と舞浜に遊びに行ったり、ショッピングセンターに買い物に出かけていることが多いです。

家事が終わった後や休日家にいる日は、趣味のゲームをして過ごしています。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

養豚・養鶏の生産振興はもっとできることがあると感じているので、畜産農家の力になれるような振興策を提案していきたいです。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

千葉の畜産はまだ伸びしろがたくさんあります。皆さんの新しい風で、是非一緒に千葉の畜産をもっと盛り上げましょう！

MY SCHEDULE

08:30
出勤・メールチェック

09:00
次年度予算に関わる
資料作成

10:00
乳牛共進会開催のための
連絡調整

11:00
午後の会議のため移動

12:00
昼食

13:00
系統豚の推進についての会議
(出張)

16:30
帰庁・会議報告書作成

17:15
退庁

17:30
スーパーで買い物後、帰宅

